《学校薬剤師として知っておくべき事項》

学校プール関係チェックリスト

１．□使用期間前点検表を確認している。

２．□日常点検表を確認している。

３．□学校におけるプール水検査の意義がわかっている。

４．□水泳プールに係る学校環境衛生基準の水質検査項目と基準及び検査回数を知っている。

５．□水泳プールに係る学校環境衛生規準の施設・設備の衛生状態の内容と検査回数を知っている。

６．□学校のプールと遊泳用プールの違いを言える。

７．□学校のプールと遊泳用プールの検査項目と検査頻度の違いを知っている。

８．□水泳プールの日常点検の項目を知っている。

９．□透視度・濁度・透明度の違いを説明できる。

10．□水泳プールの検査方法を言える。

11．□水質検査の採水地点を知っている。

12．□水泳プールに係る学校環境衛生基準について、下記検査を説明できる。

①ｐＨについて

②濁度について

③過マンガン酸カリウム消費量について

④遊離残留塩素について

⑤大腸菌について

⑥一般細菌について

⑦循環ろ過装置の処理水について

⑧総トリハロメタンについて

13．□塩素剤の種類を説明できる。

14．□塩素剤の取り扱いについて説明できる。

15．□塩素剤の保管・管理の留意点を説明でき、塩素剤の保管場所を必ず確認している。 16．□殺菌効力のある塩素とは？

17．□遊離残留塩素測定においての公定法と簡易測定法の注意点を説明できる。

18．□大腸菌群と大腸菌の違いを言える。

19．□大腸菌群と大腸菌の検査方法について説明できる。

20．□ろ過機の種類と精度の比較について知っている。

21．□浄化設備の１日あたりのターン数と除去率を知っている。

22．□浄化設備のどちらのポンプを使っているか知っている。

23．□室内プールの照度と換気基準を知っている。

24．□プールのトラブルについて、原因と対策を説明できる。

①□プールが緑色になった。

②□プールが茶褐色になった。

③□プールが白濁した。

④□プールのｐHが異常値になった。

⑤□過マンガン酸カリウム消費量が多い。

⑥□残留塩素が検出されない。

⑦□目、皮膚への刺激が強く、刺激臭がする。

⑧□糞便がプールに浮遊

⑨□農薬の瓶がプールに浮いていた

⑩□鳥の死骸がプールに浮遊

25．□スーパークロリネーションの方法を説明できる。

26．□細菌と塩素濃度の関係を説明できる。

27．□プールに関する疾患の症状、原因、予防を説明できる。

①□急性外耳炎症・中耳炎

②□ヘルパンギーナ

③□夏カゼ症候群

④□咽頭結膜炎（プール熱）

⑤□流行性角結膜炎（はやり目）

⑥□手足口病

⑦□伝染性軟属腫（みずいぼ）

⑧□伝染性脳痂疹（とびひ）

28．□定期検査、臨時検査、日常検査の記録を何年保存するか知っている